

日本作業療法士連盟ニュース

2012 autumn



家族にもう一度手料理を作りたい！

私たちは、ご利用者のそんな想いを応援しています。

デイサービスで個別リハビリを始めて4ヶ月。当初は活動に参加がなかった右手ですが、今では物を掴んだり野菜を押さえたりと大活躍しています。先月はポテトサラダを作りました。ご家族に持って帰られたところ、大喜びした娘さんが1人で食べてしまったそうです。

今度は「ミートソース」作りに挑戦！

写真は、今月の目標である「人参のみじん切り」に挑戦、達成されたときの様子です。



撮影地：デイセンター リハビリプラザ藤井寺

撮影者・コメント：木村清美様

会員数
833名

2012年10月31日現在

発行日 平成24年10月31日
発行元 日本作業療法士連盟事務局

〒583-0021
藤井寺市御舟町1-63藤井寺オフィスビル2F
電話 072-931-7887
FAX 072-931-5200

一般社団法人日本作業療法士協会

日本作業療法士連盟 共催 研修会

開催日 平成24年10月20日(土)

会場 一般社団法人日本作業療法士協会
会議室(東京都)

講師 厚生労働省政策統括官(社会保障担当)
唐澤 剛氏

少子高齢化に伴って社会保障制度の改革が進められている中、われわれ作業療法士は専門家としての知識や技術の研鑽だけでなく、自分たちが働く枠組みとしての社会保障制度を理解し、同時に現状の問題等を把握しておくことが必要となつてきます。そこで、現在の社会保障制度において国が捉えている問題と、その解決に向けた方向について学ぶ場として、今回の研修会を企画・開催いたしました。講師には、厚生労働省で社会保障関連の要職を歴任、平成24年9月から同省で社会保障担当の政策統括官に就任されている唐澤剛氏をお招きしました。

日本の医療システムには「国民皆保険」、「フリーアクセス」、「病院の八割、病床の七割が非営利・民間」という二つの大きな特徴があります。その大きな特徴を相互に関連させた我が国固有のシステムを維持・発展させていくために、厚生労働省の医療施策が方向づけられています。



テーマ「連携と参加で作る 21 世紀の地域包括ケア」

また、今もつとも課題とされているのが地域での医療介護サービスの循環的で包括的な提供体制の構築です。その実現のためには医療・介護だけでなく、予防、生活支援、住まいを包括的かつ継続的に提供する地域包括ケアシステムの構築が急がれています。そういった状況の中、各都道府県の医療・介護計画を理解し、提言・参画していくことが職能団体とすべき行動のひとつではないかと唐澤氏は参加者に投げかけられました。

また、看護基準が病院の診療報酬・加算を大きく左右することにも触れられ、看護基準だけではなく、その病院のもつ機能全体を都道府県が把握して評価していけるようになればよい。そして、その機能の中でも特にリハビリの存在をアピールすることは、リハビリ専門職種の強みになると、心強いエールもいただきました。

協会、連盟役員合わせて参加者は約30名。研修会終了後に記入いただいたアンケートでは、協会と連盟が共催で研修会を開催することについて「有意義である」「継続的に開催してほしい」との意見が多数あり、今回のような取り組みによって協会、連盟ともに目指す方向性と役割分担の認識を共同的に深めていくことができたと感じました。

この研修会を通して、日本の社会保障制度における作業療法士の立ち位置と役割を改めて見つめ直し、作業療法分野の更なる発展を目指すための良い機会となったのではないのでしょうか。



前列左から 唐澤剛 厚生労働省政策統括官、杉原素子 連盟会長

後列左から 谷隆博 連盟副会長、中村春基 協会会長、清水順市 協会副会長

研修会を終えて

杉原素子連盟会長のコメント

連盟設立から常に考えてきたことは、協会と連盟の役員が、日本の社会保障制度における作業療法士の立ち位置を共有する目的で勉強会を行う必要があるという事です。今回、協会理事会の賛同を得て第一回目の勉強会を開催することができました。超高齢・少子社会における急性期医療から地域包括ケアシステムに至る国の考えを明確に提示していただき、大変有意義でした。この話題から、作業療法士はサービスの受け手側のニーズに定める手立てと時期を失せることなく講じなければなりません。また、作業療法士の立ち位置を俯瞰する力を私たちは常に持つべきです。そうすれば、作業療法士全体が社会の中で有効な力となり得ると確信しています。

平成 24 年 8 月 1 日
～
平成 24 年 10 月 31 日
連盟活動一覧

9 月 26 日
山口和之氏へ第 23 回
参議院議員通常選挙
(比例代表選挙)
推薦状交付

10 月 20 日
協会・連盟 共催研修会
開催

< 渉外部 >

8 月 9 日
田野瀬良太郎衆議院議員
秘書 難波氏 ご来訪

8 月 29 日
山口和之氏を 3 協会 2 連
盟の候補者推薦としてお願
いする会合 参加

9 月 9 日
田野瀬良太郎君と明日の
日本を語る会 参加

9 月 20 日
長尾敬衆議院議員
ご来訪

9 月 21 日
えとうせいいちと明日を
語る会 in 大阪 参加



左：田野瀬良太郎衆議院議員秘書
難波正敬氏
右：谷隆博 副会長

田野瀬良太郎衆議院議員の秘書である難波正敬氏が日本作業療法士連盟事務所をご来訪され、谷隆博副会長、米永まち子事務局長、辻岡勝志財務部長と会談されました。

日時 平成 24 年 8 月 9 日
場所 日本作業療法士連盟事務所

田野瀬良太郎衆議院議員
秘書 難波正敬氏 ご来訪

日時 平成 24 年 9 月 20 日
場所 日本作業療法士連盟事務所

長尾敬衆議院議員 ご来訪

谷隆博副会長、長辻永喜幹事、山下協子氏、藤原太郎氏、藤井達也氏が参加いたしました。



講演中の
田野瀬良太郎 衆議院議員

日時 平成 24 年 9 月 9 日
場所 シェラトン都ホテル大阪

田野瀬良太郎君と明日の
日本を語る会



長尾 敬 (ながお たかし) 議員
昭和 37 年 11 月 29 日生まれ。
大阪府出身。
平成 21 年衆議院議員選挙にて民主
党公認候補として立候補、初当選。
年金を専門とする。現在、厚生労働
委員会理事、東日本大震災復興特別
委員会等を担当。

会談の中で長尾議員は「リハビリテーションやリハビリ職種というものはまだまだ新しい概念であり、制度がその概念に付いていない部分がある。しかし、制度というものはいづれ古くなっていくものである。今は夢物語であっても十年後には実現可能に

長尾敬衆議院議員 (写真中央) が日本作業療法士連盟事務所をご来訪され、谷隆博副会長、米永まち子事務局長、辻岡勝志財務部長、関本充史事務局次長と会談されました。

日本作業療法士連盟からは谷隆博副会長、長辻永喜幹事の二名が参加いたしました。



左：谷隆博 連盟副会長
中央：衛藤晟一 参議院議員
右：長辻永喜 幹事

日時 平成 24 年 9 月 21 日
場所 ホテル京阪京橋 (大阪府)

えとうせいいちと明日を
語る会 in 大阪

なっていることもしばしばはある。全国各地から同じ声が上がれば、それは必ず力になる。」と力強く語っておられました。



日本作業療法士連盟への 寄付のお願い

2012 年度も昨年度に引き続いて会員募集活動を継続して参りますとともに、より多くの方にご賛同・ご参加頂きたいという想いから、年会費引き上げは予定しておりません。つきましては、日本作業療法士連盟の趣旨にご賛同頂ける方から寄付を募りたいと存じます。単位金額の設定等には特にごさいませんが、ご都合に応じ、壹万円・参万円・伍万円を枠としてご検討頂けますと幸いです。さらなる発展を目指す想いにご賛同頂きまして、格段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

寄付を頂くにあたっての詳細は下記 URL をご参照ください。

URL <http://www.ot-renmei.jp/>

事務局からのお知らせ

～2012 年度年更新のお手続はお済でしょうか？～

- ◇ 2012 年度年会費(2,000 円)をお振込いただく際は、お手数ですが本連盟会員番号と登録いただいている氏名を記載くださいますよう、お願いいたします。
(例:99999-R レンメイ タロウ)
 1. 郵便払込→専用の払込取扱票にて振込
※継続会員の方には払込取扱票を事務局より郵送いたしました。まだお手元に届いていない方は、お手数ですが事務局までご連絡ください。
 2. 銀行振込
 - ①ゆうちょ銀行
ゆうちょ窓口からお振込の場合・・・口座記号・番号 00960-3-180690
他金融機関窓口からお振込の場合・・・099 店 当座 0180690 口座名義人／日本作業療法士連盟
 - ②三井住友銀行
藤井寺支店 普通 No. 3826388
口座名義人／日本作業療法士連盟 会計責任者 ツジオカカツシ
- ◇ 情報発信時(郵送・メール送信等)に、ご入会時の登録内容について事務局よりお問い合わせする場合がございます。
- ◇ 登録情報の変更や退会されます際は、事務局(☎072-931-7887)までお電話にてご連絡ください。
※2013 年度更新時より、年会費徴収が口座振替となります(継続会員の方のみ)

★「写真投稿」のお願い★

あなたの撮った写真が、連盟ニュースの表紙を飾ります！

「作業療法に関する一場面を撮った写真」をはじめ、「暮らしへの慈しみ」「活気あふれる生活」など、支え合うことの大切さや明日への希望を表現した写真をどしどしご投稿ください。写真についてのコメントを一緒に付けていただいても結構です。

投稿先: 日本作業療法士連盟に
氏名・連絡先を添えて右記まで。

広報部 担当者: 岩崎
info@ot-renmei.jp

